

柳津小学校だより

鳴神山



2020, 8, 27 No. 21

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



2学期スタート（始業式）

2学期がスタートして1週間が過ぎました。おかげさまで子どもたちは順調にスタートを切ることができました。保護者の皆様のご支援、ご協力に心より感謝いたします。

さて8月20日（木）に第1学期始業式を行いました。校長からは前号に内容を掲載した通り「チャレンジ2学期」でがんばっていきましょうという話をしました。その後代表児童3名が「夏休みの思い出と2学期の目標」を発表しました。3名の児童とも堂々とした態度で、大きな声ではっきりと発表することができ、大変素晴らしかったです。

また養護教諭からは2学期も自分で自分の健康を守ることができるように「うたしてマスク」（うがい、たいおん、しょうどく、てあらい、マスク、かんき）をしっかりと守り、安全で健康に生活していきましょうという話がありました。自分の健康を守ることはもちろん、周りの人の健康を守るためにも「うたしてマスク」を確実に実践させていきたいと思えます。ご家庭でもご指導のほどよろしく願いいたします。



資源回収

8月22日（土）にPTA主催で資源回収を行

いました。PTA役員の皆様のご協力の下、スムーズに回収を行うことができました。保護者の皆様におかれましては、紙類や缶類などたくさんのご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。今回の収益金は、子どもたちの教育活動に役立たせて参ります。



<お知らせ>

- ①8月19日付でスクール・サポート・スタッフとして熊川友行（くまかわともゆき）が着任いたしました。スクール・サポート・スタッフは、安全で安心な学校づくりのために、校内の消毒作業を中心としながら、その他学校の業務補佐を行います。お世話になります。
- ②9月17日（木）に予定しておりました「交通安全鼓笛パレード」は中止となります。9月26日（土）の「柳小オリンピック2020」の中で、鼓笛の発表を行います。ご理解ください。

校長のひとりごと

新型コロナウイルス感染症が会津地方でもついに発生しました。そのような中で、現在、全国的に感染者を誹謗中傷する行為がたくさんあるようです。私たちの福島県においても、

(<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20200820-528247.php> 福島民友ニュース

一部抜粋)によると、以下の記事が掲載されていました。

郡山市の品川萬里市長は19日の会見で、これまで市内で確認された感染者について公表された内容から本人を特定し、その家族らに対して誹謗中傷する行為が複数あったと明らかにした。品川市長は「患者や家族に対しての差別はあってはならない」とした上で、「プライバシーを保護するため、公表内容は必要最小限にしている。好んで感染したわけではないという立場を理解してほしい」と語気を強めた。市によると、家族が感染したことを批判する声が寄せられたケースがあったという。

また(<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20200820-528245.php> 福島民友ニュース

一部抜粋)によると、以下の記事も掲載されていました。

会津若松市での初となる新型コロナウイルスの感染確認を受け、室井照平市長は19日、コメントを発表した。全国的に感染拡大の傾向が続く中で、県外との人の往来が増えていることを踏まえ「新しい生活様式の実践による感染拡大防止への協力を」と呼び掛け、冷静な行動を求めた。また、室井市長は「いつ、どこで、誰が感染してもおかしくないのがこの新型コロナウイルス感染症だ」と強調。感染された人を特定したり、偏見や差別的な言動をしたりすることが決してないように訴えた。

この2つの記事を読んで、もし私が感染したらということを考えさせられました。今、新型コロナウイルス感染症は、どんなに気を付けていても、感染する可能性が0%ということはないと思います。「うたしてマスク」をもちろん私も実践しているつもりですが、外に出ないということはありませんし、買い物にも出かけます。そんな中、感染経路不明で感染することもあるかもしれません。もし私が感染したとします。報道では「柳津町の小学校教員」と発表されるでしょうか。それとも「柳津町小学校校長」でしょうか。「柳津小学校校長」でしょうか。「柳津町小学校校長」「柳津小学校校長」の場合、個人が特定されるでしょう。「氏名」「住所」「電話番号」等の個人情報が分かるのも時間の問題のような気がします。そこからのたくさんの電話や自宅まで押し掛ける行為、ネットへの情報公開等があったのならば、私や家族は耐えられるのでしょうか。きっとコロナウイルスの病気よりも、そちらの方で心が病んでしまうのではないかと思います。少なくとも私の心は100%耐えられないのではないかと思います。

感染者及びその家族等への差別・偏見・誹謗中傷などは、決してあってはならないことだと思います。品川市長や室井市長が話しているように、「好んで感染したわけではない」「いつ、どこで、誰が感染してもおかしくないのがこの新型コロナウイルス感染症」だと思います。私たちは子どもたちに「いじめは絶対にあってはならないこと」「いつでも、どこでも、誰に対してもやさしい気持ちで接することの大切さ」について指導しています。日本全国の学校でも同じような指導をしていると思います。もちろんこれからも「新しい生活様式」に沿って、安全で健康な生活を送ることができるように指導はしていきますが、不幸にも、私たちにとって身近な方が感染してしまったときに、子どもたちの中でいじめなどが発生しないように、道徳科の中で「いじめ未然防止に向けた授業」を行ったり、心の指導を行ったりするなど、私たちチーム柳小2020教職員は全力で子どもたちを守っていきます。保護者の皆様も、私たちにとって身近な方が感染してしまったときに、チーム柳小2020の仲間として、ぜひ一致団結して温かい心で見守ってほしいと思います。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。